

定例調査

北陸の産業天気図

第38回 地方シンクタンクフォーラム

講演録

「これからの地域創生のあり方 ～震災からの復興とまちづくり～」

コンサルティング
通信

第8回 事業承継編③

税制改正から読み解くオーナー経営者の「守り」と「攻め」

企業紹介

合資会社 開花亭

北陸歴史探訪

第17回 上杉謙信の能登攻略と七尾城陥落

【金沢桐工芸】まんまる夏火鉢 花尽くし
今の暮らしに調和するよう意匠された小振りな
火鉢。卓上で多用途に活躍する。



桐の焼き肌に優美な蒔絵を施す伝統の技

金沢桐工芸(石川県指定伝統工芸品) × ^{いわもと きよし}岩本 清商店 [石川県金沢市]

表面を焼いて磨き上げた桐材に肉厚の優美な蒔絵を施すことを特徴とする金沢桐工芸は、江戸時代から1950年代まで暖房器具として欠かせなかった火鉢から発展したものです。最盛期には数十軒あったとされる製造元は、今では岩本清商店ただ1軒を残すのみとなりました。実用品から趣味の品となった火鉢を、現代の生活空間に調和するお洒落でコンパクトな「卓上用」として制作。おにぎり、お餅、トーストが焼けるほか、お燗やお湯の保温にも使えるなど、用途の幅が広く、日常を楽しく彩る道具として好評を得ています。火鉢にとどまらずトレーや季節飾りといったオリジナル商品にも伝統の技を生かし、その魅力を伝えています。

●桐火鉢 ^{ろうばい}老梅

豪華な蒔絵をあしらった昔ながらの火鉢。かつて金沢では、嫁入り道具としても用いられていた。



●まんまる夏火鉢 夜空の星

直径19cmの扱いやすい卓上火鉢。海苔や乾物を炙るなど、さまざまな楽しみ方ができる。



●ちょこっとトレー 蒔絵

金沢のカフェでよく使われている、使い勝手のよい人気のトレー。



●まんまる飾り ひな・かぶと

飾る場所を選ばない、リバーシブルの愛らしい季節飾り。



●桐箱 重ねりんどう蒔絵

大切なものをしまっておきたい、趣のある桐の箱。



^{ろくろ}轆轤を回し、高速で回転する木材を精巧に削り上げて素地を形づくる。



五代目 岩本匡史(左)・内田健介(右)

石川県金沢市瓢箪町3-2
TEL:076-231-5421
URL:<https://www.kirikougei.com/>
Mail:info@kirikougei.com

岩本清商店

創 業 1913(大正2)年

主な事業 桐火鉢・桐工芸品の製造・販売

概 要 2004年、五代目の岩本匡史さんと姉の歩弓さんが東京からUターンし、歩弓さんの夫内田健介さんとともに3人で継業した。従来の間屋経由から直販中心へと販路を切り替え、百貨店の催事などで積極的にPRを展開。

その結果、若い世代や外国人の顧客も増え、インターネットを通じて海外からオーダーメイドの注文が届くなど、幅広い層から注目を集めている。

ホームページは
こちらから



Instagramは
こちらから

